

犬をかって知ったこと

四年 活洲芽依

八月十二日、犬をかい始めました。ボーダーコリーという犬種の生後二ヶ月の女の子です。ボーダーコリーの毛の色は、白黒のイメージがあると思いますが、白茶の毛です。

犬の名前を決める時、家族で意見が合わなくて大変でした。父は、

「洋犬だから外国っぽい名前が良いなあ。好きなバスケットボールの選手から名前をもらって、カリリーにしよう。」

と言いました。でも母が、

「カリリーって名前だとカレールイスみたいだからいや。」

と言いました。次に私が、

「ライトって名前が良い！」

と言ったのですが、

「男の子みたいだなー。」

と言われてしまいました。

その次に弟が、

「ドラゴンが良い！」

と元気良くさげびましたが、それは家族中から、いっせいに反対されました。最後に母が、

「私はテテが良いと思う。」

と言いました。今、世界中で人気があるBTSというグループのメンバーの名前らしいです。呼んだひびきが可愛くて、家族みんな気に入ったので、テテと言う名前に決まりました。うちでは母がとても強いけん力を持っているので、何かを決める時は、だいたい母の意見になります。

テテが家に来た時に、安全に運ぶために、とても小さい入れ物に入っていました。三時間ほど入れられていたのではオシッコとウンチまみれで、テテの体はとてくさかったです。だから、テテの第一いんしょうは可愛いけどくさい…でした。人見知りがあったくなくて、入れ物から出したしゅん間から家の中を元気に走り回っていました。

テテをかってから数日がたちました。父と私と弟は、

「可愛い、テテと遊ぶの楽しい。」

と毎日言っていますが、母は、

「可愛いけど、本当に大変…。」

と毎日言っています。トイレを覚えていないので、家中どこでもオシッコをしてしまいます。犬にトイレを覚えさせるのは本当に大変なことなんだなと思いました。でも母は、

「犬は本来は外で自由にくらしていたんだよ。人間のつごうでトイレトレーニングさせられて、ストレスを感じながらも頑張っているんだから、人間も長い目で見てあげなければいけないんだよ。」
と言っていました。

犬をかうということは、とても大変なことだと知りました。でもテテをかってから、私は毎日楽しくて幸せです。これからは、母の手伝いをしながら、テテのことをずっと大切にしていきたいと思います。